

第4回 白須賀地区学校再編検討委員会 議事録

日 時 令和7年9月8日(月)
場 所 湖西市役所
参 加 者 21名
委員 8名(学識経験者1名、保護者代表2名、地域代表3名、校長2名)
事務局 5名(教育長、教育次長、学校教育課長、学校教育課職員2名)
傍聴者 8名

会議内容

議長より本日の議事内容の説明があり、事務局への質問や委員同士の意見交換を行った。

1 「地域住民アンケートについて」

- ・ 前回委員会での意見を踏まえ、地域住民アンケート及び比較検討資料については、「現状維持」という表現を「小中学校を存続し小中一貫教育を推進する」に修正、「児童生徒数の推移」に男女別の人数を記載、「比較検討資料のグランドデザイン」は削除、小規模特認校制度の注釈内に「1 学級の人数」を記載、B 案の中学校の統合先については岡崎中に限定しない、などの修正を行った。また、アンケート回答用紙については、できるだけ選択肢を記載し、選択回答する形式に修正した。
- ・ 「子どもの意見を聞いてはどうか」という意見を受けて、このアンケートとは別途、子どもの意見を聞くアンケートを行うこととした。
- ・ アンケートの実施方法は、自治会の回覧でアンケートの資料を配布し、Web 及び紙での回答を受け付ける併用方法とした。

＜質問①＞前回、現状維持ではなく、特色ある教育の取組み、ICT の活用、教育 DX、コミュニティスクールなどと記載してはどうかと提案した。A 案の現状維持は削除されたが、小中一貫に絞った根拠があれば伺いたい。

＜回答①＞アンケートの選択項目が長い文言だと分かりにくいこと、現在、具体的な方針を出せる段階ではないので小中一貫教育とした。また、中学校を存続する場合、小規模特認校制度の導入、地域との連携交流を強化させる、特色のある学校づくりを行うということについては、比較検討資料の中に記載した。

【委員より】

今後、小中一貫ではない方向となった時に、アンケートと違うという指摘が出てくる可能性もあるため、小中一貫に絞らず、より教育の質を求めていくといったような文言でも良いのではないかと。

【委員長より】

教育環境については問6に入れたので、A案とB案を分かりやすくするためには、小中一貫教育という文言を取っても良いかもしれない。

＜質問②＞市全体で人をどのように増やしていくのかという未来のビジョンがあれば、小中一貫教育という選択肢ももう少し幅が広がると思う。

【委員より】

現在の児童数・生徒数のまま小中一貫教育を推進すると記載するのではなく、湖西市に人を呼び込むために教育DX等、新しいことをやるということを記載できないのか。ただ存続させるだけでは意味がないと考えている。

＜回答②＞アンケートを行い、白須賀地区の方針が決まった段階で、存続する場合もしくは統合した場合の教育のビジョンを打ち出し、教育振興基本計画のビジョンの中で示していきたいと考えている。そのため、現在はビジョンを示すのが難しい。

＜質問③＞統合するか存続するかを考え、その後に湖西市としてのビジョンを考えていくとなっているが、湖西市がどうあるべきかを先に話し合った上で、それに基づき統合しても存続させても、そのようなビジョンに基づきやりますという書き方はできないのか。

＜回答③＞この検討委員会の中では、白須賀地区の学校再編について検討しているところであるため、まずは、存続か統合かという点のご意見や考えを白須賀地区の皆さまに伺うことが第一と考えている。

【委員より】

アンケートで、遠距離にはなるが今後のことを思い統合を選択した方が、将来的に教育DXに変えていくとなった時、過去の選択を考え直したくなる状況にはならないか。

【委員長より】

再編方針と教育ビジョンのどちらが先かと言われると難しいが、今回、問6として望ましい教育環境を伺う項目を追加した。これを教育について考える一つのきっかけにして欲しいと思う。

＜質問④＞まずアンケートでのA案やB案の表記や説明について、その方向性を1つ出さないといけないのではないかと。また、スケジュール的にはどうなるのか。

＜回答④＞先ほど委員長からご提案いただいたとおり、A案は、「小中一貫教育を推進する」という記載はせず、「小中学校ともに存続」とし、B案は「近隣の中学校へ統合する」という記載にしたいと思う。進め方については、どちらが先かという議論はあるが、存続などの方針が決まってから、白須賀小学校にとって、より良い教育を皆様で話し合ってまとめていければと考えている。

【委員より】

どのような学校、どのような教育環境にしていくか、もう少し、前に進んでい

こうというような気持ちが表れるようなものにしたいと思う。

＜質問⑤＞アンケート案で、人数の減少状況を記載しているが、人数が減ってくるから、A 案、B 案を出しましたと強く感じてしまうのではないか。人数で縛られていると強く感じてしまう。また、A 案は「小中学校を存続し」とあるが、小学校は存続するので、「小」を消しても良いのではないか。

＜回答⑤＞人数については、現状をお知らせしないといけないと思っており、このような形とした。A 案も小学校は存続するので、「中学校を存続」という表記でよいと考える。

＜質問⑥＞人数を出すのであれば、その後のビジョンを出すのも大事ではないか。

＜回答⑥＞推計する人数を見たうえで、今後のビジョンに関する問 6 の設問に答えてもらいたいと考えている。

＜質問⑦＞問6で知りたいことは、地域住民が教育に何を求めているのかだが、この回答が反映されると思っていないので、回答する前に湖西市が何をしたいのかを知りたい。その点がないのに、問6で回答してほしいと言うのは少し違うのではないか。

＜回答⑦＞この問 6 では、何かを限定するのではなく、地域の皆様、保護者の皆様の教育に対する広い意見を聞きたいと考えている。今回、A 案をアンケートの項目に入れたのも、地域の皆さまの声によって初めの方針とは変わってきたという経緯がある。問 6 で伺い、その意見を計画に盛り込んでいきたいと思う。

＜質問⑧＞計画に盛り込むことは非常に重要だと思うが、計画への反映はされるか。

＜回答⑧＞アンケートでの皆様の意見については、必ず再編計画に反映していく形になると考えている。また、現在策定中の湖西市教育振興基本計画にも、可能な範囲で反映していきたいと考えている。

＜質問⑨＞今回のアンケートでは、B 案で中学校を統合する選択肢が、岡崎中、鷺津中、新居中と3校あると思うが、その学校の生徒数は提示しないのか。

＜回答⑨＞岡崎中、鷺津中、新居中の生徒数を提示した方がよいと思う一方で、記載する文量が増えるため難しい点もあるため、検討したい。

＜質問⑩＞A 案の説明に「特色ある教育の取組み」程度の文言は入れてはどうか。

＜回答⑩＞A 案の説明については「中学校を存続した場合」とし、その下の「小学校、中学校の校舎そのまま残した上で～」という記述については、同じページの「現状維持とした場合の取組み（案）」へ記載したいと考えている。

＜質問⑪＞「現状維持」の表記は全て修正することか。

＜回答⑪＞「現状維持」の表記は全て修正する。

【委員長より】

アンケートの送付、回収方法について委員の皆様の意見を伺いたい。

【委員より】

何世代か同居している場合に「同じ住所にお住まいの方でも…」という説明を

書いているが、この内容で分かる人がどれくらいいるのか疑問である。住民基本台帳に世帯ごと登録されているので、同居している世帯に対して「お子様を含めたご家族で～」と文言で伝えるより、各世帯にダイレクトに郵送した方が良いのではないか。

【委員より】

アンケートの回収も含めて、家庭事情も多少は分かっている自治会を頼って見たらどうか。

【委員より】

まず家族の中で話し合うことが非常に大切で、子どもの将来、まちの将来を考え直すきっかけにもなると考えている。私は、一世帯一回答に加えて子どもの意見を別に併用して取る形が良いような気がする。

【委員より】

アンケートの回答率が低くなるのはもったいない。なるべく地区全員から声を聞ける方法が最も良いと思うので、例えば、子どもがいる世帯は学校、幼稚園、保育園経由で依頼し、子どもがいない世帯には郵送で送ってはどうか。また、事前にアンケートについて自治会等で話し合っておいてもらった方が良いと思う。

【委員長より】

アンケートの実施方法について、各委員の意見を頂いたが、この意見を踏まえて教育委員会でまとめてもらいたい。

【事務局より】

幼稚園、小学校、中学校の子どもがいる家庭には、園、学校を通じてアンケートを依頼し、地域の方には、一世帯一回答に近い形で、別途依頼する方法としたい。

【委員より】

子育て世代の就園前の方の一部が、少しグレーになるかも知れませんが、自治会は自治会、学校関係は学校関係で別々に行くのであれば、取り漏れは減るのかと思う。

【委員より】

紙で回答したアンケートについては南部地区構造改善センターで回収すると思うが、難しい方もいると思うので、回収方法についてもう少し考えてもらいたい。

＜質問⑫＞学校経由で子どもがいる世帯のアンケート内容については、保護者に答えていただくアンケートということか。子どもには子どもで、この内容では全く理解できないので、別で取るという意味合いでよいか。

＜回答⑫＞そのとおり考えている。

＜質問⑬＞アンケート結果で方針を決定するのか、それとも参考とするのかどちらなのか。

＜回答⑬＞アンケート結果を参考にしたいと考えている。

＜質問⑭＞アンケート結果の扱い方についても記載する方が良いのではないか。

＜回答⑭＞アンケート結果だけで、A 案か、B 案にすることはないとすることがきちんと伝わるように修正する。

【委員より】

先生方は、子どもたちの望ましい教育環境に非常に重要な割合を占めてくと思う。地域住民だけ意見を聞くのもどうかと思う。

＜質問⑮＞先生方に、問6のみ無記名で、現在の教育環境について意見を聞くことは可能か。

＜回答⑮＞勤務されている先生方がどのように考えているかを聞き、その結果を提示することは可能だと思う。

＜質問⑯＞アンケートに関して修正が相当あったと思うが、今後のスケジュールはどうするのか。

＜回答⑯＞本日の委員会を踏まえ修正したアンケート用紙等を、個別に郵送し、委員の皆さまに確認をしていただきたいと考えている。その後、了承を得られてからアンケートを実施していきたい。

以上

＜第4回検討委員会終了後～アンケート実施までの経緯＞

9月17日 アンケート修正案を委員に送付し 9/30 を期限として各委員の意見を伺った。

1 アンケートの主な修正箇所

(1) アンケートの選択肢（A案）を修正

修正前	修正後
【A案】 小中学校を存続し小中一貫教育を推進する	【A案】 中学校を存続

(2) 児童生徒数の推移に鷺津中学校、岡崎中学校、新居中学校を追加

(3) 「アンケート結果の取扱い」に関する文章を追加

2 アンケート用紙の配布方法

子育て世代に確実に回答していただくために、配布方法を次のとおりとしました。配布方法の変更に伴い、アンケート依頼文にも注意事項を追記しています。

＜配布方法＞

① 未就学のお子さんがある世帯	郵送による配布
② 白須賀小学校にお子さんがある世帯	学校からお子さんを通じて配布
③ 白須賀中学校にお子さんがある世帯	学校からお子さんを通じて配布
④ 全世帯（①～③の世帯を含みます）	自治会回覧による各戸配布

※お子さんのいる世帯の配布例について（兄弟関係等）

＜例＞未就学児のみ…①、④ 未就学児、小学生…②、④

未就学児、小学生、中学生…③、④ 中学生、高校生…③、④

一番下のお子さんが高校生以上…④

10月10日 委員の意見を踏まえた確定版のアンケートを委員に送付
(再度修正した箇所)

修正前（第4回検討委）	修正後	備考
【A案】 <u>小中学校を存続し小中一貫教育を推進する</u> 【B案】 近隣の中学校に統合する	【A案】 <u>小学校・中学校ともに存続</u> 【B案】 <u>小学校は存続、</u> 中学校は近隣の中学校に統合	第4回検討委員会では「小学校存続は再編方針のとおりなので不要では」というご意見もありましたが、再編方針を知らない方もいるため、明記することとしました。

10月15日～11月21日 アンケート配布・実施